

# 超速硬コンクリート用パック ジェットパック

## ジェットパックとは

超速硬コンクリートの現場練りには、単位水量、骨材、現場計量の手間など様々な問題があります。これらの問題を解決するために使用材料のすべてを計量済のパックにしたものが「ジェットパック」です。

## ジェットパックの特長

1. 1セットあたりの練上り量は約25リットルです。40セットで1m<sup>3</sup>（1000リットル）の超速硬コンクリートが出来上がります。
2. 3時間で 24N/mm<sup>2</sup> 以上の強度が得られます。（20℃室内試験）
3. 長期にわたって安定した強度を示します。
4. 浮き水（ブリーディング）がなく打設後、沈下がありません。

## ジェットパックの適用例

橋梁、道路、鉄道、港湾、空港、工場、駐車場等の緊急工事  
伸縮装置、高欄、地覆、側溝床版、土間、カードレール基礎等

## その他使用材料

1. 被膜養生剤：スミセエスシー（2～3倍希釈で使用）
2. プライマー：リフレトリート

### ジェットパック荷姿



※荷姿写真は一例です。製造工場により仕様外觀が若干異なります。

### ジェットパック荷姿一覧

※北海道版は別カタログを参照ください。

出荷地域	パック1 (kg)	パック2 (kg)	パック3 (kg)	水量調整用パック3 (kg)	遅延剤
関東甲信越・東北	29	27	3.8	0.2	12.5g×4袋※
東海・北陸	28	25	4.4	—	
関西・中国・四国	28	27	4.2	—	
九州・中国	28	27	4.2	0.3	

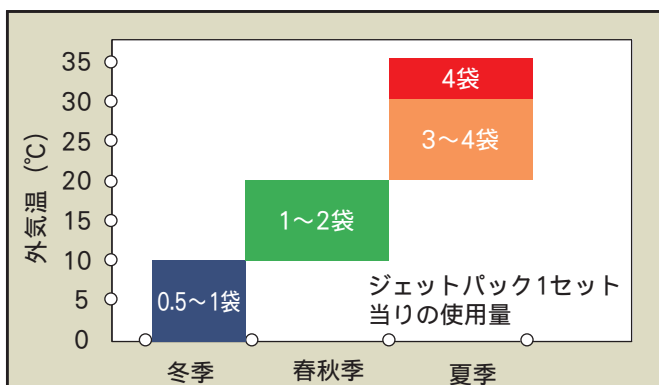
※冬季は3袋

### ジェットパックの標準配合例

出荷地域	パック1 (kg)		パック2 (kg)	パック3 (kg)		練上り量 (ℓ)
	セメント	砂	粗骨材	水	減水剤	
関東甲信越・東北	29		27	3.8		約 25
東海・北陸	28		25	4.2		
関西・中国・四国	28		27	4.0		
九州・中国	28		27	4.2		

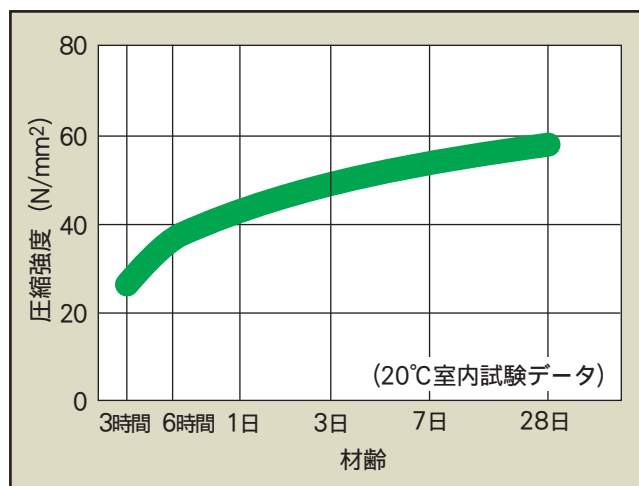
- 製造工場により各パックの容量、および袋仕様が異なりますが練上り量は同一です。
- 気温やミキサーの性能によって、練上がりコンクリートのコンシステンシーが変化しますので、試し練り等で水量決定を行ってください。
- ジェットセッターJPは外気温に応じた適量をパック3に予め溶かしてご使用ください。

### ジェットセッターJPの添加量



注1) 他の遅延剤と混ぜないでください。  
注2) 遅延剤の過剰添加は圧縮強度の低下を招きます。必ず外気温に応じて適量を添加してください。冬季も遅延剤の添加が必要です。  
注3) 上記は、社内実験室での測定値であり、品質保証値ではありません。

### ジェットパックの材齢と圧縮強度の関係



## ジェットパックの使用法

### 傾胴型ミキサー(推奨容量70L以上)

#### ジェットセッターJP(遅延剤)の投入

●外気温に応じてパック-3にジェットセッターJP(遅延剤)を投入し、ふたをして、パック-3をよく振って、よくかき混ぜ溶解してください。

#### パック-2, パック-1を傾胴型ミキサーへ投入

●傾胴型ミキサーに**パック-2, パック-1**の順に開封投入します。(投入順序は厳守してください。)

#### パック-3を傾胴型ミキサーへ投入

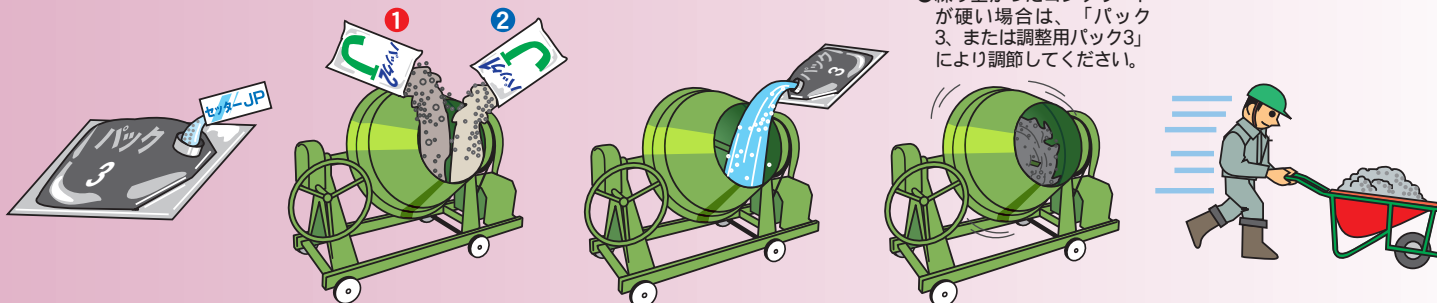
●パック-2, パック-1の投入後、傾胴型ミキサーを回転させ徐々にパック-3を投入してください。  
**注) 急速にパック-3を投入すると、混練不良が発生する場合があります。**

#### 約5分間練り混ぜ実施

●約5分間練り混ぜます。  
●練り混ぜ3分後ミキサーを一旦止めてミキサーの内部等についた材料を掻き落とし、その後2分程度練り混ぜます。  
●練り上がったコンクリートが硬い場合は、「パック3、または調整用パック3」により調節してください。

#### 練り上がり

●ジェットパック1セットあたりの出来上がり量は約25リットルです。直ちに施工箇所に打ち込みます。



### コンクリート用パン型ミキサー

#### ジェットセッターJP(遅延剤)の投入

●外気温に応じてパック-3にジェットセッターJP(遅延剤)を投入し、ふたをして、パック-3をよく振って、よくかき混ぜ溶解してください。

#### パック-2, パック-1をパン型ミキサーへ投入

●パン型ミキサーに**パック-2, パック-1**の順に開封投入します。(投入順序は厳守してください。)

#### パック-3をパン型ミキサーへ投入

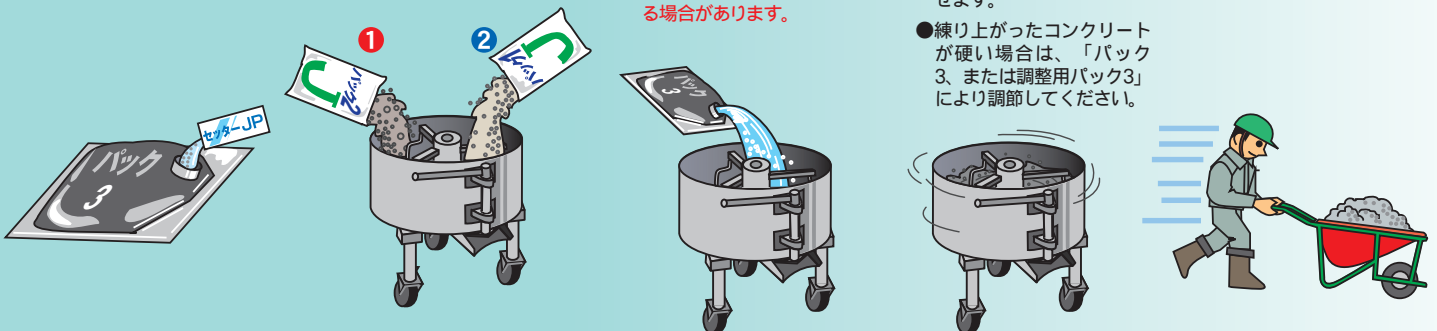
●パック-2, パック-1の投入後、パン型ミキサーを回転させ徐々にパック-3を投入してください。  
**注) 急速にパック-3を投入すると、混練不良が発生する場合があります。**

#### 約3分間練り混ぜ実施

●約3分間練り混ぜます。  
●練り混ぜ2分後ミキサーを一旦止めてミキサーの内部等についた材料を掻き落とし、その後1分程度練り混ぜます。  
●練り上がったコンクリートが硬い場合は、「パック3、または調整用パック3」により調節してください。

#### 練り上がり

●ジェットパック1セットあたりの出来上がり量は約25リットルです。直ちに施工箇所に打ち込みます。



#### 暑中対策

日平均気温が25℃以上になることが予想される場合、以下の対策を行ってください。

- 材料は直射にあたらないように保管してください。
- パック3を冷却し練り上がり温度が35℃を超えないようにしてください。
- 打設後の養生は直射、風等による乾燥がおこらないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。また、打設箇所の温度を急激に上昇させないようにしてください。

#### 寒中対策

日平均気温が4℃以下になることが予想される場合、以下の対策を行ってください。

- 氷雪のついてる材料は、そのまま使用しないでください。
- 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適当な方法でこれを溶かし、打ち継いでください。
- 材料を加温する場合は、パック3を加温し、練り上がり温度が5℃以上になるようにしてください。
- 打設箇所の温度を急激に低下させないようにしてください。
- 冬季においては、テストピースは鋼製鋤車型枠よりもサミット缶やモールドの使用を推奨しています。

#### 使用上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。
- セメントの容器(袋)は完全防水仕様ではありませんので、保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は、パレット等でかさ上げし防水シートで覆ってください。開封したセメントは、なるべく早く使用してください。
- 他のセメントと混ぜないでください。

・詳しくは技術資料をご確認ください。  
・物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。

・使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。  
・本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

## 住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F)  
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)  
名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)  
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)  
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)  
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)  
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)  
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)  
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759  
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708  
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273  
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017  
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516  
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193  
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870  
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646  
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は